



災害時の迅速な被害把握で減災を目指す ドローンを活用した被害状況調査の実証実験

市は株式会社ピッコロ社（地域再生・防災ドローン利活用推進協会 枚方支部）と連携し、大規模災害発生時のドローン活用による被害状況調査の有効性を検証するため、市内5か所の実証実験を実施する。「災害発生時の迅速かつ正確な情報収集」という課題に対し、民間企業などと本市の対話の窓口として設置している公民連携プラットフォームで同社から提案があったもの。

実験では、ドローンを飛ばして被害状況が把握できる高度や映像の精度などを確認。今回の検証を通じ、災害発生時の情報収集精度を上げることにより被害拡大の防止などにつなげることを目的としている。

★ 日 時

令和7年1月28日（火）午前9時～午後3時ごろ

★ 場 所

時間	場所
午前9時～9時30分	枚方市役所別館屋上(大垣内町2丁目1番20号)
10時～10時30分	希釈放流センター(出口2丁目30番1号)
11時～11時30分	淀川河川敷磯島グラウンド(磯島北町15-1番先)
午後1時30分～2時	枚方市地域活性化支援センター(車塚1丁目1番1号)
2時30分～3時	東部清掃工場(大字尊延寺2949番地)

※当日の状況や天候により、タイムスケジュール・実証内容を一部変更する場合があります。

<お問い合わせ>

危機管理部 危機管理対策推進課 ☎072-841-1270、FAX072-841-3092